

# 浦幌町立博物館だより

令和2(2020)年5月号

編集・発行：浦幌町立博物館 ☎089-5614 北海道十勝郡浦幌町字桜町16-1 / ☎015-576-2009 / ✉museum@urahoro.jp

## ”コロナな世相”を語り継ぐために

### 「コロナ」って？

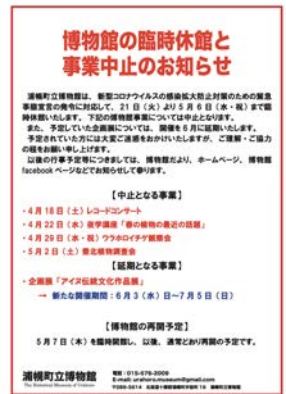
コロナウイルスとは、これまでも動物や人間にさまざまな病気を引き起こしてきた、いくつかのウイルスの総称です。このなかには、中東呼吸器症候群(MERS:マーズ)や重症急性呼吸器症候群(SARS:サーズ)など、重篤な症状を引き起こす呼吸器感染症の原因となることがわかっています。

いま問題となっている「新型コロナウイルス感染症(COVID-19:コビッド19)」とは、最近発見されたコロナウイルスが引き起こす感染症です。新しく見つかったので「新型」なのです。そのため、その症状や対策にはまだまだわかっていない事が多いのです。

ちなみに、「コロナ」とは王様の冠(王冠)のことです。丸い形をしたウイルスの外側に、王冠のようなトゲトゲがあることから名づけられました。



コロナ対策を反映した折込広告や掲示物(左)と、博物館の臨時休館のお知らせ(右)



### 「コロナ資料」を集める

感染力の強い病気のため、人々がお互いに接近しないよう、お店の休業や施設の閉鎖などの取り組みが、世界規模で行われています。博物館や図書館も、現在、2回目の臨時休館中です。

博物館では、こうした新型コロナウイルス感染症に対応する、地域の

様子(世相)を記録するため、ポスターやチラシ、文書などの関連資料を収集しています。各施設の臨時休館ポスター、お店での飲食を自粛するためのテイクアウトの呼び掛け、スーパーのタイムセール自粛や、郵便局の窓口時間短縮のお知らせなどなど。数十年度、「あれは大変な時代だった」と振り返るとき、きっと役に立つ資料になると考えています。

(浦幌町立博物館 学芸員 持田 誠)

## 新採用の図書館司書を紹介します



浦幌町立図書館の山崎菜摘(やまざき なつみ)司書。博物館係も兼任します。

好きな本は、有川浩『レインツリーの国』。  
(↑新潮文庫版が図書館にあります)

初めまして。4月より図書館司書として働かせていただくことになりました、山崎菜摘と申します。

出身は帯広です。札幌の藤女子大学にて、司書の資格を取得しました。

司書の仕事に就きたいと思ったきっかけは幼い頃、母に色々な本を読んでもらった経験からです。そのことで自然と本を読むのが好きになりました。

来ていただいた方々に興味を持っていただけるような本の選び方や展示などを工夫して考えられるような司書を目指したいです。

浦幌で生活するのは初めてで、まだ不慣れな部分も多々ありますが、町民の方々のお役に立てるように精一杯頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願い致します。